

828号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2  
 日港福会館 5階  
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622  
 メール rouren@kensu.jp  
 ホームページ http://www.kensu.jp/  
 全国検数労働組合連合  
 書記局



# 全国 検数労連

## 3月25日(水)10:00~11:00 第五回 検数労連26春闘交渉(労組有額回答指定日) 両協会回答未提示・・・ 組合は両協会の姿勢に抗議！次回交渉では組合要求に沿った回答を！

3月25日(水)第五回検数労連26春闘交渉で、組合は両協会に対し有額回答の提示を求め交渉を行いました。

### 《全日検》

前回の交渉で披露できていなかった25年度の収支状況等について、下期以降の落ち込みもあり、前年度比0.2パーセントの減となった。人件費についても25春闘での賃上げもあつたことから人件費増となったが、最終的には25年度収支はプラスで終えている。

26年度の見通しについては、イラン情勢や不透明となっている放射能検査の継続問題などもあり、厳しい状況と言わざるを得ないが、諸物価高騰への対応や人員対策などの課題もあるなかでどのようかあらゆる角度から検討している最中である。また、産別回交や港荷の交渉が設定されているなかで、動向を注視していきたいことも含め、今しばらく時間をいただきたい。

### 《日検協会》

本日の第五回交渉は労使指定の有額回答指定日となっており、労組より以前から要望をいただいていたが、25年度損益見込みならびに26年度損益計画の内容について点検作業を終え、27日に開催される支部長会議で最終的な確認を行わなければならない事か



ら、本日の交渉で回答を提示できる状況にない事をご理解願いたい。また、今後の懸念材料となっている中東情勢は、連日放送されているとおり、事態が刻々と変化しているなかで、この情勢がどのような影響を与えるのか注意深く見守る必要があるため、その点についても今週の会議で議論に及びものと考えている。

したがって、労組の有額回答に対する要望や、現場で奮闘する従業員の期待は十分理解するものの、これらの要求も含め、現在、見通しについて慎重に検討している段階であるため、今しばらく時間の猶予をいただきたい。

### 《組合主張》

世界情勢による先行き不安は一定理解するものの、職場では有額回答指定日である本日の交渉に期待していたなかで、検数独自の回答を提示出来ない両協会に対して、率直に抗議する。

今日まで5回の交渉を重ねてきたなかで、組合員の本日の交渉に対する思いは分かっているはずなのに、回答未提示とは率直に残念な結果であると言わざるを得ない。

次回交渉では、組合員の声にしっかりと耳を傾けた回答を提示してほしい。また、諸要求についても並行して回答の提示を求めらる。

新年度に向けて、組合員も新たな生活設計を建てる時期にあるなかで、回答を提示できないという事実は、組合員の生活設計に不安や不信を募らせることになりかねない。

そのような事の積み重ねが新たな離職者を出しかねないわけで、両協会においてはまずそこを理解してほしいと同時に、定昇部分だけ先に回答するといった努力や工夫が必要である。

4月から新たな子育て支援制度による健康保険の増額や通勤交通費の値上げによって生じる社会保険料の増額によって手取り収入が減る可能性がある。

両協会は、そのようなことも踏まえた賃上げ回答を次回交渉までに構築するよう求める。

### 【検数労連中四国支部 オルグ開催】

3月6日(金)岡山市じぎ一会議室で、検数労連中四国支部26春闘オルグが開催され、中央から石橋委員長と山田副委員長が参加し、中四国支部の執行部と組合員16名と意見交換や交流などを深めました。

26春闘の概要説明では、産別春闘では『賃金格差解消と持続可能な働き方』の確立を目指し、賃上げや労働時間の短縮、福利厚生充実などを要求して交渉に挑んでいること。検数労連では賃金体系の底上げと時間外労働依存の改善を要求。また、長時間労働の解消や奨学金制度の導入など賃上げと労働条件の改善を追求し、たまたかっていくといった報告がされました。

参加者からは、職場問題からストライキの是非、組合の役割、青年層の活動参加の重要性など多岐にわたる議論が展開され、充実した中四国支部となりました。



**第6回 検数労連26春闘交渉 (未定)**  
 次回交渉については事務局間調整になります。